

吉岡興業

年末餅つき大会を実施

地域の子供たちに伝統引き継ぐ



機械工具商社の吉岡興業（神戸市兵庫区、078・579・1177）は地域との交流を深めると共に、日本の伝統を次世代に伝えるイベントとして第2回「年末お餅つき大会」を12月27日に実施した。「昨年に続き、地元の子供たちが参加。臼と杵を使って餅つきを体験し、ついたお餅を美味しそうに食べていた。」

昨今は少子高齢化の影響で、お

餅つきはなかなか見られない光景になり、寂しく感じる人も多い。同社はそんなお餅つきを身近で体験できる機会を子供たちに提供している。餅つきを体験した子供は「楽しかった。またやりたい」「お餅が美味しい」と嬉しそうに話した。

地域密着型の商社にとって地域交流は大切なこと。年末最後のイベントで子供たちとの温かい交流の場となった。